

7/3  
(日)

## 自分の思いを言葉にして

松浦ライオンズクラブ第35回小中学生弁論大会



▲二村佳蓮さん(左)、相川智央さん(右)

松浦ライオンズクラブ(久保田健司会長)が主催する同大会が文化会館で開催され、市内小中学校から選ばれた代表16人が自身の主張を發表しました。

最優秀賞として、中学生の部に二村佳蓮さん(志佐中3年)の「マスク越しの笑顔」、小学生の部に相川智央さん(志佐小6年)の「『NOWAR』-これからの世界-」が選ばれました。

また、審査員特別賞には、坂本大河さん(鷹島小6年)が選ばれました。

7/2  
(土)

## きれいな海と安全を祈って

大崎海水浴場海開き祈願祭&清掃活動



御厨町にある同海水浴場の海開き前に、今シーズンの安全を願って大崎海水浴場組合主催による祈願祭が執り行われました。

今シーズンは7月9日~8月10日までの遊泳期間となり、毎年海水浴やキャンプ、バーベキューを行う人でにぎわいます。

また、7月12日には、環境・地域共生活動の一環として、九州電力(株)松浦発電所、西九州共同港湾(株)、JPGS(株)松浦火力運営事業所の職員74人が海岸の清掃を行いました。

まちの話題

7/7  
(木)

## 市勢20年ぶり2人目の長崎県代表！！

第12回全国和牛能力共進会長崎県代表牛選考会



5年に1度開かれる全国大会の県代表牛を選出するために開催された選考会で、市山浩司さん(志佐・西山)が育て上げた牛3頭1群が見事代表に選出されました。

これは、平成14年の全国大会(岐阜)以来、松浦市勢としては20年ぶり2人目の快挙となります。さらに山本鉄美さん(鷹島・三里)が出品された牛も補欠牛として選出されています。

以下、市山さんからいただいたコメントを掲載いたします。

### ▼市山さんのコメント

今回初めて全共出品に挑戦したところ、長崎県代表の栄冠を勝ち取ることができました。これは、ひとえに牛の手入れ、運動、調教など、約半年間協力してくださった組合員の皆さま、また、市、農協などの関係機関の皆さまのおかげであり、大変感謝しております。全国大会まで約3ヶ月、牛と自身の体調管理に気を付けながら本番では上位に並べるように努力していきたいと思ひます。



7/11  
・19

## 口いっぱいに地元の甘み

松浦メロン学校給食



松浦アールスメロンが市内全小中学校の学校給食で振舞われました。

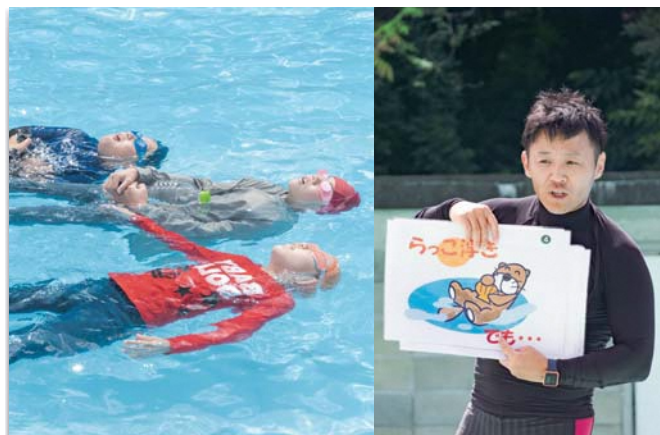
これは、消費拡大、産地 PR、地産地消による食育の一環として行われたもので、11日（福島町は19日）には生産者が丹精込めて育てた約260個、2,050食分のメロンが振舞われました。

調川小学校の5年生の教室では、普段はあまり食べないと言っていた子どもたちも「とっても甘くてすごくおいしかった」と果汁たっぷりのメロンを口いっぱいほおばっていました。

7/6  
～15

## 溺れそうなら「ういてまて」

まつうラッコ会（消防本部職員有志）



まつうラッコ会は松浦市内の小学校6校を訪れ、水難事故を未然に防ぐための講習会「ういてまて」を実施しました。

今福小学校で7月8日に実施された講習会には同校全児童108人が参加しました。

水難事故の約80%は服を着たままの状態で行われるため、より実践に近づけるように生徒たちも服を着たまま「ういてまて」のキーワードとともに自ら身を守る方法を学びました。

まちの話題

7/13  
～15

## 中学生職場体験記！！

久保川さん（志佐・上野）の立派な<sup>まき</sup>榎の木庭園取材しました！！

松浦市内の中学校では、職場体験学習に取り組んでいます。

志佐中学校3年生7人が3日間市役所の仕事を体験しました。

13日に広報の仕事を経験した二村佳蓮<sup>かれん</sup>さん、瀧野快斗<sup>かいと</sup>さんには実際に取材・撮影をしてもらいました。初めての取材に苦戦しながらも2人で協力し記事を完成させました。

**下記が完成した記事です！！**



久保川忠さんは、25歳の時にみかん畑へ木の種を植え始め、現在は約2,000本の<sup>まき</sup>榎の木や、けやきなどを育てています。すべて独学でこだわりを持って木を育てたり、道を整備したりと、広大な土地を一人で造り上げられました。

久保川さんは、「楽しいからここまでやり続けていられる。一度始めたことは最後までやり遂げる」と笑顔で語られました。

秋ごろには榎の木を刈り込むため、立派な木がみられるとのことでした。